

## 令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費  
 4 項 林業費  
 2 目 林業振興費

県産材・林産振興課（内線：7264）  
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
みんなで取り組む山間地きのこ生産モデル事業	10,001	△8,928	1,073	△4,464			△4,464	
トータルコスト	17,130	△8,928	8,202	（補正に係る主な業務内容）				
従事する職員数	0.9人	0.0人	0.9人					
工程表の政策内容	県産特用林産物の生産振興							

事業内容の説明

【「地方創生推進交付金」充当事業】

### 1 事業の目的、概要

山間集落の営農組織をしいたけ栽培の新たな担い手として位置付け、農閑期を活用し原木しいたけ生産に新規参入するモデル的な取組を支援することで後継者の確保育成としいたけ増産の加速化を図り、併せて山間地域の集落や営農組織の活性化を進める。

### 2 主な事業内容

原木しいたけモデル地区認定が予定数を下回ったことによる執行見込み額の減に伴う減額補正である。

（単位：千円）

事業内容	補正前	補正	計
原木しいたけ生産に新規参入するために必要な生産施設、機械設備、作業労力軽減を図る機械・器具等の整備に対する支援	10,001	△8,928	1,073

令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費

4 項 林業費

県産材・林産振興課 (内線: 7302)

2 目 林業振興費

(単位: 千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
県産材転換促進事業	21,500	△3,984	17,516				△3,984	
トータルコスト	22,229	△3,984	18,245	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.1人	0.0人	0.1人	—				
工程表の政策内容	県産材の需要拡大と競争力強化							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

新型コロナウイルス感染症の影響による外材の輸入の停滞に伴い、代替材として国産材活用の期待が高まる中、これを契機に今後継続した県産製材品の円滑な流通と外材から県産材へのシフトに係る戦略的促進策を検討する。併せて供給連鎖の維持のため、木材確保に取り組む県内製材業者を臨時的に支援する。

2 主な事業内容

交付金の額の確定による執行残の減額補正である。

(単位: 千円)

事業区分	補正前	補正	計
県産材転換戦略づくり事業	1,500	0	1,500
ウッドショック対策臨時交付金	20,000	△3,984	16,016
計	21,500	△3,984	17,516

令和3年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費

4項 林業費

県産材・林産振興課（内線：7297）

6目 林道費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(公共事業) 林道事業	1,361,290	△72,913	1,288,377	△52,500	<1,000> 1,000		△21,413	県費負担 △20,413
トータルコスト	1,362,082	△72,913	1,289,169	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	12.3人	0.0人	12.3人	国との調整、補助金申請事務、団体営事業の指導調整、補助金交付事務など				
工程表の政策内容	-							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

森林整備を効率的に行う上で不可欠な林内路網の幹線である林道を整備する。

2 主な事業内容

（単位：千円）

事業名		補正前	補正	計	補正理由
補助	農山漁村地域整備交付金林道事業	150,167	△26,000	124,167	国認証減による減額補正
	道整備交付金林道整備事業	91,550	△42,250	49,300	
	補助事務費	41,171	1,350	42,521	対象事業の実績見込による増額補正
	人件費継足	37,048	△6,013	31,035	実績見込による減額補正
補正に係るもの 計		319,936	△72,913	247,023	

(着工地区概要：別紙のとおり)

(注) 起債欄の上段< >書きは交付税措置を除いた額である。

備考欄の県費負担は起債欄の< >書きの金額と一般財源の金額を加算したものである。

令和3年度一般会計補正予算説明資料

1 1 款 災害復旧費

1 項 農林水産施設災害復旧費

県産材・林産振興課（内線：7297）

2 目 林道施設災害復旧費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
（公共事業） 林道施設災害復旧事業	1,166,097	△492,724	673,373	△489,218	<△150> △3,000		△506	県費負担 △656
トータルコスト	1,169,265	△492,724	676,541	（補正に係る主な業務内容）				
従事する職員数	2.4人	0人	2.4人	国・市町との調整、工事の執行・監督、団体営事業の指導等				
工程表の政策内容	—							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

林道施設において、豪雨、地震などの異常な天然現象により被災した箇所を原形に復旧し、機能回復を図る。

2 主な事業内容

（単位：千円）

事業名		事業主体	補正前	補正	計	補正理由	
補助	県営	過年災	県	53,500	△18,003	35,497	事業費精査による減額補正
		現年災	県	69,485	△9,985	59,500	事業計画の変更による減額補正
		計		122,985	△27,988	94,997	
	団体営	過年災	市町村	123,200	0	123,200	変更なし
		現年災	市町村	914,912	△464,736	450,176	事業計画の変更による減額補正
		計		1,038,112	△464,736	573,376	
補正に係るもの 計			1,161,097	△492,724	668,373		

（注）起債欄の上段< >書きは交付税措置を除いた額である。

備考欄の県費負担は起債欄の< >書きの金額に一般財源の金額を加算したものである。

令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費

4 項 林業費

森林づくり推進課 (内線: 7335)

2 目 林業振興費

(単位: 千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
緑・木とのふれあい体験事業	4,109	△1,500	2,609				△1,500	
トータルコスト	8,862	△1,500	7,362	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.6人	0.0人	0.6人	—				
工程表の政策内容	とっとりグリーンウェイブの展開							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

県民共通の財産である森林を守り育てることの大切さを普及啓発するとともに、平成25年5月に鳥取県で開催した第64回全国植樹祭の成果を後世につなげるため、県植樹祭の開催、とっとり花回廊「いやしの森」の整備等を行う。

また、緑化に関して功績のあった県民の方等を表彰し、緑化の取組を推進する。

2 主な事業内容

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による県植樹祭の延期に伴う減額補正である。

(単位: 千円)

区分	補正前	補正	計	補正理由
第66回鳥取県植樹祭	2,202	△1,490	712	県植樹祭延期に伴う事業量の減
地域の緑を育てる体験活動	188	0	188	
緑化推進団体の活動支援	1,420	0	1,420	
コンクール等	88	△10	78	事業量の減
トッキーノ商標登録更新業務	211	0	211	
合計	4,109	△1,500	2,609	

令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費

4 項 林業費

2 目 林業振興費

5 目 造林費

森林づくり推進課(内線:7335)

(単位:千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
とっとり環境の森づくり事業	240,968	△9,500	231,468			(基金繰入金) △9,500		
トータルコスト	259,186	△9,500	249,686	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	2.3人	0.0人	2.3人	—				
工程表の政策内容	とっとりグリーンウェイブの展開							
事業内容の説明								
<p><b>1 事業の目的・概要</b>                      すべての県民が享受している森林の公益的機能等の恩恵を持続的かつ高度に発揮させるため、森林環境保全税を活用し、森林環境の保全・整備と森林をすべての県民で守り育てる意識の醸成を図る。</p> <p><b>2 主な事業内容</b>                      新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う事業量の減等による減額補正である。</p>								
(単位:千円)								
区分	補正前	補正	計	補正理由				
とっとり環境の森緊急整備事業	2,016	△2,016	0	事業量の減				
とっとり県民参加の森づくり推進事業	9,000	△1,850	7,150	事業量の減				
森林環境保全税関連事業評価委員会	1,112	0	1,112					
森林の保全・整備	6,821	0	6,821					
保安林内作業道整備								
森林景観対策事業	4,500	△650	3,850	事業量の減				
竹林整備事業	61,922	△2,700	59,222	事業量の減				
制度の普及啓発	5,327	△2,284	3,043	事業量の減				
補正に係るもの計	90,698	△9,500	81,198					

令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費

4 項 林 業 費

森林づくり推進課 (内線: 7335)

2 目 林業振興費

(単位: 千円)

事業名	補正前	補正	計	財 源 内 訳				備 考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
とっとり環境の森づくり事業 (基金積立事業)	172,849	6,915	179,764				6,915	
トータルコスト	173,641	6,915	180,556	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.1人	0.0人	0.1人	森林環境保全税収の基金積立、取崩等事務				
工程表の政策内容	—							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

森林環境保全税の税収を基金に積み立て、使途事業に要する経費に充てる。

2 主な事業内容

税収見込みの増に伴う増額補正である。

(単位: 千円)

区分	補正前	補正	計
森林環境保全税税収	172,819	6,915	179,734
基金運用利息	30	0	30
合計	172,849	6,915	179,764

令和3年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費

4項 林業費

5目 造林費

森林づくり推進課(内線:7305)

(単位:千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
皆伐再造林を支える 優良種苗安定供給戦略事業	30,926	△5,305	25,621			(基金繰入金) △5,305		
トータルコスト	50,729	△5,305	45,424	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	2.5人	0.0人	2.5人	—				
工程表の政策内容	森林整備の推進、森林病虫害被害対策の徹底							
事業内容の説明								
<p><b>1 事業の目的・概要</b> 皆伐再造林の計画的かつ確実な推進を図るため、県内種苗の安定供給に繋がる苗木生産施設の整備を支援するとともに、県営採種穂園の適正な整備や造成を進める。</p> <p><b>2 主な事業内容</b> 整備事業の変更に伴う減額補正である。</p>								
(単位:千円)								
区分		補正前	補正	計				
県内種苗供給に資する苗木生産基盤施設等の整備支援		11,200	0	11,200				
苗木生産業者の生産規模の拡大支援		2,285	0	2,285				
優良種苗の供給に向けた県営採種穂園整備事業		17,441	△5,305	12,136				
未来の森林づくりに繋げる優良種苗供給検討会		400	0	400				
県営採種穂園整備事業		15,499	△5,305	10,194				
種子の採取・精選		1,542	0	1,542				
合計		30,926	△5,305	25,621				



令和3年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費

4項 林業費

森林づくり推進課(内線:7305)

4目 森林病虫害防除費

(単位:千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考																																								
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																																									
ナラ枯れ対策事業	82,816	△7,827	74,989	△3,887		(基金繰入金) △3,940																																										
トータルコスト	100,242	△7,827	92,415	(補正に係る主な業務内容)																																												
従事する職員数	2.2人	0.0人	2.2人	—																																												
工程表の政策内容	森林整備の推進、森林病虫害被害対策の徹底																																															
事業内容の説明	<p><b>1 事業の目的・概要</b>                      県中西部を中心に発生しているカシノナガキクイムシによるナラ類樹木の被害を抑制し被害のまん延を防止するため、有識者を交えた専門家会議において、今後の被害対策を検討し、被害林の伐採、更新により被害が発生しにくい森林への転換を図る。</p> <p><b>2 主な事業内容</b>                      ナラ枯れ被害量の減少に伴い、事業計画を見直したことに伴う減額補正である。                      (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>細事業名</th> <th>補正前</th> <th>補正</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>被害対策専門家会議等</td> <td>755</td> <td>0</td> <td>755</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>予防対策</td> <td>18,564</td> <td>0</td> <td>18,564</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>駆除対策</td> <td>37,000</td> <td>△1,137</td> <td>35,863</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>若返り対策</td> <td>15,000</td> <td>△3,940</td> <td>11,060</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>被害跡地更新実証事業</td> <td>5,000</td> <td>0</td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>空中探査等</td> <td>6,497</td> <td>△2,750</td> <td>3,747</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>82,816</td> <td>△7,827</td> <td>74,989</td> </tr> </tbody> </table>									細事業名	補正前	補正	計	1	被害対策専門家会議等	755	0	755	2	予防対策	18,564	0	18,564	3	駆除対策	37,000	△1,137	35,863	4	若返り対策	15,000	△3,940	11,060	5	被害跡地更新実証事業	5,000	0	5,000	6	空中探査等	6,497	△2,750	3,747		計	82,816	△7,827	74,989
	細事業名	補正前	補正	計																																												
1	被害対策専門家会議等	755	0	755																																												
2	予防対策	18,564	0	18,564																																												
3	駆除対策	37,000	△1,137	35,863																																												
4	若返り対策	15,000	△3,940	11,060																																												
5	被害跡地更新実証事業	5,000	0	5,000																																												
6	空中探査等	6,497	△2,750	3,747																																												
	計	82,816	△7,827	74,989																																												

令和3年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費

4項 林業費

森林づくり推進課(内線:7305)

5目 造林費

(単位:千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(公共事業) 造林事業	930,399	△176,182	754,217	△126,076	<△5,600> △8,000		△42,106	県費負担 △47,706
トータルコスト	930,399	△176,182	754,217	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	8.1人	0.0人	8.1人	—				
工程表の政策内容	森林整備の推進、森林病虫害被害対策の徹底							
事業内容の説明								
<p><b>1 事業の目的・概要</b>                      森林の有する多面的機能に応じた整備を進めるため、一定の要件を満たす森林整備(植栽、間伐、森林作業道整備等)に対し支援を行う。                      また、皆伐再造林推進事業により造林事業で実施する再造林及びその後の保育作業等を重点的に支援し、持続可能な林業経営を見据えた森林の若返りを図る。</p> <p><b>2 主な事業内容</b>                      国費認証の減による減額補正である。</p>								
(単位:千円)								
区分	補正前	補正	計	補正理由				
森林環境保全整備事業	752,235	△167,435	584,800	国費認証減による減額。				
人件費継足	45,588	△8,747	36,841	実績見込に伴う減額。				
補正に係るもの計	797,823	△176,182	621,641					
(着工地区の概要:別紙のとおり)								

(注)起債欄の上段<>書きは交付税措置を除いた額である。

備考欄の県費負担は起債欄の<>書きの金額と一般財源の金額を加算したものである。

令和3年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費

4項 林業費

7目 治山費

森林づくり推進課 (内線:7335)

(単位:千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(公共事業) 治山事業	75,229	△3,952	71,277				△3,952	
トータルコスト	75,229	△3,952	71,277	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	3.1人	0.0人	3.1人	—				
工程表の政策内容	保安林の管理、林地開発許可及び指導監督							
事業内容の説明								
<p><b>1 事業の目的・概要</b>                      森林の公益的機能が低下した保安林において早期に機能を回復させるため、植栽等による森林整備を行う。</p> <p><b>2 主な事業内容</b>                      人件費の執行見込みに伴う減額補正である。</p>								
(単位:千円)								
区分		補正前	補正	計				
補助	治山事業	37,308	0	37,308				
	保育事業	16,308	0	16,308				
	保安林改良事業	21,000	0	21,000				
	補助事務費	1,865	0	1,865				
	人件費継足	26,810	△3,952	22,858				
	事務費継足	746	0	746				
単独	県単治山維持修繕事業	8,500	0	8,500				
合計		75,229	△3,952	71,277				
(着工地区の概要:別紙のとおり)								

### 令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費  
 5 項 水産業費  
 1 目 水産業総務費

水産課（内線：7309）  
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
職員人件費 (水産業総務費)	436,889	△18,267	418,622			<手数料> △122	△18,145	

事業内容の説明

水産関係職員55名分及び会計年度任用職員21名分の人件費の執行見込に伴う減額補正である。

## 令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費  
5 項 水産業費  
1 目 水産業総務費

水産課（内線：7314）  
（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
漁業金融対策費	57,680	△8,435	49,245				△8,435	
トータルコスト	60,056	△8,435	51,621	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.3人	0.0人	0.3人	—				
工程表の政策内容	漁業経営の安定・所得向上							

事業内容の説明

### 1 事業の目的、概要

漁業者等に運転資金等の融通を行った金融機関に対し、利子補給を行い、もって漁業者等の経営の安定を図る。

項 目 名	利子補給の対象となる融資の目的等
漁業近代化資金助成事業	漁業者等の資本整備の高度化と漁業経営の近代化（漁船建造等）
漁業経営安定対策資金事業	中小漁業者等の経営の安定
漁業経営維持安定対策事業	漁業経営の維持が困難となった中小漁業者の漁業経営の再建
漁業経営財務基盤強化資金事業	燃油高、資材高騰や魚価安等の影響から資金繰りに窮している中小漁業者等の資金繰りの円滑化
もうかる6次化・農商工連携支援事業費補助金（6次産業型利子補給事業）（漁業関係）	「農家が取り組む6次産業化推進事業」の補助残に漁業近代化資金を活用する場合に、利子補給を行い、実質金利を無利子化
JFマリンバンクコロナ対策長期資金利子補給事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、経営が逼迫している漁業者等に対し漁業系金融機関が行う新たな融資に利子補給を行い、実質金利を無利子化

### 2 主な事業内容

漁業近代化資金等における執行見込による減額補正である。

水産振興局特別会計繰出金	119,996	3,357	123,353				3,357	
トータルコスト	119,996	4,149	124,145	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.0人	0.1人	0.1人	—				
工程表の政策内容	—							

事業内容の説明

### 1 事業の目的、概要

鳥取県県営境港水産施設の運営を円滑に行うために起債償還等に係る経費を特別会計に拠出するものである。

### 2 主な事業内容

鳥取県県営境港水産施設事業特別会計の執行見込に伴う増額補正である。

## 令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費  
 5 項 水産業費  
 2 目 水産業振興費

水産課（内線：7313）  
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
漁業就業者確保対策事業	116,188	△20,103	96,085				△20,103	
トータルコスト	142,327	△20,103	122,224	（補正に係る主な業務内容）				
従事する職員数	3.3人	0.0人	3.3人					
工程表の政策内容	漁業経営体の急激な減少に歯止め							
事業内容の説明								
<b>1 事業の目的、概要</b>								
高齢化と後継者不足による活力低下が進む漁村の担い手を確保するため、新規就業希望者の受入れ、指導体制を整備・支援する。 また、新規就業者が着業する際に必要な漁船・機器等の取得に必要な支援を行う。								
<b>2 主な事業内容</b>								
漁業研修事業費補助金及び漁業経営開始円滑化事業費補助金における執行見込による減額補正である。								
がんばる漁業者支援事業	7,374	△1,902	5,472				△1,902	
トータルコスト	8,166	△1,902	6,264	（補正に係る主な業務内容）				
従事する職員数	0.1人	0.0人	0.1人					
工程表の政策内容	漁業経営の安定・所得向上							
事業内容の説明								
<b>1 事業の目的、概要</b>								
沿岸漁業者等が漁業経営改善を図るために漁船用機器の購入、漁船の改造等をするのに必要な経費に対して支援を行い、漁業者の経営能力強化を図る。								
<b>2 主な事業内容</b>								
がんばる漁業者支援事業費補助金における執行見込による減額補正である。								

## 令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費  
 5 項 水産業費  
 2 目 水産業振興費

水産課（内線：7317）  
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
漁場環境保全事業	2,380	△1,850	530	△500			△1,350	
トータルコスト	11,885	△1,850	10,035	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	1.2人	0.0人	1.2人					
工程表の政策内容	漁業経営の安定・所得向上							
事業内容の説明								
<b>1 事業の目的、概要</b>								
有害生物発生時に迅速な対応をとり、台風被害による磯場資源の早期回復、疾病検査体制を確保し検査等を実施することで、漁業被害の低減や漁場環境の保全を図る。								
<b>2 主な事業内容</b>								
本事業で駆除するヒトデ等の有害生物の大量発生や、買上げ対象とするサメの漁獲が想定より少なかったこと、また、コイヘルペスが発生しなかったことによる減額補正である。								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・有害生物駆除支援初動対応事業費補助金 △900千円</li> <li>・漁具破損被害抑制事業 △450千円</li> <li>・コイヘルペスウイルス病まん延防止命令に基づく損失補償金 △500千円</li> </ul>								
イワガキ岩盤清掃実証事業	1,334	△900	434				△900	
トータルコスト	2,126	△900	1,226	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.1人	0.0人	0.1人					
工程表の政策内容	—							
事業内容の説明								
<b>1 事業の目的、概要</b>								
水産基盤整備事業で設置したイワガキ増殖礁を継続的に利用し、イワガキ資源の増加と安定を図るため、県栽培漁業センターが開発した岩盤清掃機器及び食害対策器の実証調査を行う活動に対し支援を行う。								
<b>2 主な事業内容</b>								
イワガキ増殖礁の清掃予定地区が2地区から1地区に減少したこと及び漁業者グループが自ら作業したことで経費が削減されたことによる減額補正である。								

## 令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費  
 5 項 水産業費  
 2 目 水産業振興費

水産課（内線：7317）  
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
魚を育む内水面漁業活動支援事業	8,000	△800	7,200				△800	
トータルコスト	10,376	△800	9,576	（補正に係る主な業務内容）				
従事する職員数	0.3人	0.0人	0.3人					
工程表の政策内容	漁業経営の安定・所得向上							
事業内容の説明								
<b>1 事業の目的、概要</b> 近年、自然及び人為の影響により内水面における魚類の生息環境は悪化傾向にある。漁業資源を維持できるよう、各漁業協同組合が単独で各種取組を実施しているところであるが、一部を除き資源の維持が困難な状況にある。このため、県としても魚の豊かな川づくり（内水面）に寄与できるよう、漁業協同組合等が行う環境保全活動等に要する経費を支援する。								
<b>2 主な事業内容</b> 新型コロナウイルス感染症の影響でイベントが中止になったこと等による事業費の減額補正である。								
小わざ魚道改修事業	19,829	△651	19,178				△651	
トータルコスト	20,621	△651	19,970	（補正に係る主な業務内容）				
従事する職員数	0.1人	0.0人	0.1人					
工程表の政策内容	漁業経営の安定・所得向上							
事業内容の説明								
<b>1 事業の目的、概要</b> 県内3河川（千代川、天神川、日野川）では、魚道が機能せずアユ等水産有用種の遡上阻害が起きている堰堤がある。このため、県では平成29年度に、国、県、漁協、専門家で組織した「水辺の環境保全協議会」を設置し、3河川（千代川・天神川・日野川）の魚道設置改修について必要箇所及び優先順位等を協議し、現在、魚道整備を進めている。								
<b>2 主な事業内容</b> 施工費用に不用額が生じたことによる減額補正である。								



令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費  
5 項 水産業費  
4 目 漁業調整費

水産課（内線：7339）  
（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
漁業調整事業	7,109	△1,000	6,109				△1,000	
トータルコスト	63,804	△1,000	62,804	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	7.8人	0.0人	7.8人	-				
工程表の政策内容	-							
事業内容の説明								
<p><b>1 事業の目的、概要</b></p> <p>漁業関係法令に基づき漁業の管理、調整、指導を行う。</p> <p>【漁業関係法令】 漁業法、鳥取県海面漁業調整規則、鳥取県内水面漁業調整規則、水産資源保護法、漁船法、遊漁船業の適正化に関する法律等</p> <p><b>2 主な事業内容</b></p> <p>漁業調整事業等における執行見込による減額補正である。</p>								
漁業調整委員会費（海区漁業調整委員会費【職員人件費】）	20,988	△7,773	13,215				△7,773	
事業内容の説明								
海区漁業調整委員会事務局職員3名分の人件費の執行見込に伴う減額補正である。								

## 令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費  
 5 項 水産業費  
 8 目 漁港建設費

水産課（内線：7316）  
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(公共事業) 特定漁港漁場 整備事業	1,872,000	0	1,872,000		<△207,000> △207,000		207,000	県費負担
トータルコスト	1,883,882	0	1,883,882	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	1.5人	0.0人	1.5人					
工程表の政策内容	漁業経営の安定・所得向上							
事業内容の説明								
<b>1 事業の目的、概要</b>								
<p>境漁港について、国が策定する高度衛生管理基本計画に基づき、消費者の「安心・安全」のニーズに対応した高度衛生管理型市場、災害に強く流通拠点となる防災対応型漁港を整備し、水産物の安定的な供給と、輸出など漁業の国際化にも対応できる力強い水産業を推進する。</p>								
<b>2 主な事業内容</b>								
起債充当額の減少に伴う財源更正である。								

(注) 起債欄の< >書きは交付税措置額を除いた額である。  
 県費負担額は、起債欄の< >書きの金額に一般財源の金額を加算した額である。

### 令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費  
 5 項 水産業費  
 5 目 漁業取締費

境港水産事務所（電話：0859-42-3167）  
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
海面漁業取締費	26,036	△1,170	24,866				△1,170	
トータルコスト	74,354	△1,170	73,184	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	6.1人	0.0人	6.1人					
工程表の政策内容	適時・的確な漁業取締							

事業内容の説明

**1 事業の目的、概要**

漁業秩序の維持を確立するため、海面における漁業取締活動を行う。

**2 主な事業内容**

漁業取締船「はやぶさ」通常整備工事に執行残が生じたことによる減額補正である。

## 令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費  
 5 項 水産業費  
 6 目 水産試験場費

水産試験場（電話：0859-45-4500）  
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
スマート漁業 推進事業	6,567	△1,661	4,906			<受託事業収入> △3,030	1,369	
トータルコスト	8,151	△1,661	6,490	（補正に係る主な業務内容）				
従事する職員数	0.2人	0.0人	0.2人					
工程表の政策内容	燃油高騰に耐える漁業経営体への技術・研究支援							
事業内容の説明								
<b>1 事業の目的、概要</b>								
ICT技術を活用し、操業中の漁船が海洋観測（水温・塩分・潮流）したデータを収集する。収集した観測データを活用し、精度の高い海況予測情報の提供を行い、沿岸漁業者に活用してもらうことで、不要な出漁を控えることによる計画的な操業や、漁場探索労力の軽減による効率的な操業（労働時間短縮、燃油削減）を図る。								
<b>2 主な事業内容</b>								
国受託事業費の減に伴う減額補正である。								

## 令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費

5 項 水産業費

栽培漁業センター（電話：0858-34-3321）

10 目 栽培漁業センター費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
栽培漁業センター管理運営費	109,709	0	109,709		<△48,000> △48,000		48,000	県費負担
トータルコスト	144,685	0	144,685	（補正に係る主な業務内容）				
従事する職員数	6.6人	0.0人	6.6人					
工程表の政策内容	—							

### 事業内容の説明

#### 1 事業の目的、概要

試験研究開発業務を支障なく行うための庁舎管理及び調査船の維持管理、公益財団法人栽培漁業協会への交付金等に要する経費である。

#### 2 主な事業内容

起債充当額の減少に伴う財源更正である。

（注）起債欄の< >書きは交付税措置額を除いた額である。  
 県費負担額は、起債欄の< >書きの金額に一般財源の金額を加算した額である。

令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費  
1 項 農業費  
1 目 農業総務費

販路拡大・輸出促進課（内線：7806）

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「食のみやこ鳥取県」輸出強化事業	116,500	△29,167	87,333	△21,720			△7,447	
トータルコスト	131,550	△29,167	102,383	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	1.9人	0.0人	1.9人	—				
工程表の政策内容	海外への販路拡大							

事業内容の説明

【「地方創生推進交付金」充当事業】

1 事業の目的、概要

県内事業者が行う農林水産物等の輸出促進活動を支援し、海外での販路拡大や鳥取県産品の認知度向上を図る。

2 主な事業内容

新型コロナウイルス感染症の拡大等による委託事業及び補助事業の執行見込減に伴う減額補正である。

（単位：千円）

細事業名	補正前	補正	計
「新しい生活様式における「食のみやこ鳥取県」輸出促進事業（委託費・報償費）	30,000	△9,869	20,131
新しい生活様式における輸出促進活動支援事業費補助金（補助金）	20,000	△5,027	14,973
HACCP等対応施設整備緊急対策事業費補助金（補助金）	66,500	△14,271	52,229
合計	116,500	△29,167	87,333

G I（地理的表示）保護制度登録産品拡大・ブランド化事業	900	△600	300					△600	
トータルコスト	4,068	△600	3,468	(補正に係る主な業務内容)					
従事する職員数	0.4人	0.0人	0.4人	—					
工程表の政策内容	県外への県産品の販路拡大								

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

G I（地理的表示）保護制度を活用してブランド化に取り組む産地を支援するとともに、ブランド形成、販路拡大を進めるためのPRを行う。

2 主な事業内容

新型コロナウイルス感染症の影響による事業見合わせに伴う補助金の減額補正である。